サーバ内蔵型バッテリーユニット（PY*BBG04）
ご使用上の留意・注意事項

本製品に関して、以下の留意・注意事項がございます。本製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

2023 年 5 月

富士通株式会社

1. 対象製品

本留意事項の対象製品は以下の製品になります。

サーバ内蔵型バッテリーユニット(FJBU)　(型名: PY-BBG04、PYBBBG04)

2. ご使用上の注意事項

本製品をご使用の場合、搭載するサーバに iRMC ファームウェア 1.18S 以降の最新版を適用ください。

また、OS のシャットダウン機能(停電時に自動で OS をシャットダウンする機能 ※1)をご使用の場合は ServerView Agentless Service v10.30.04 以降の最新版をインストールしてご使用ください。

(※1)OS のシャットダウン機能など詳細につきましては、Web に公開しております『サーバ内蔵型バッテリーユニット PY-BBG04/PYBBBG04 アップグレード＆メンテナンスマニュアル』をご参照ください。

1) Linux 環境での OS のシャットダウン機能について

ServerView Agentless Service v10.30.04 を使用した OS のシャットダウン機能は Windows Server 環境のみ使用可能で、Linux 環境においてはご使用いただけません。

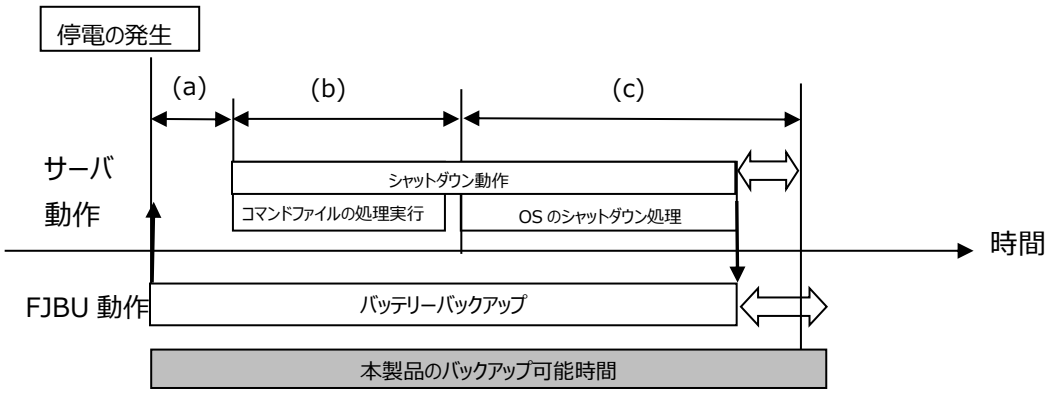
※5 月リリースの iRMC ファームウェア 1.24S および ServerView Agentless Service v10.40-06 にて修正されております。上記版数以降の最新版の iRMC ファームウェアおよび ServerView Agentless Service を適用ください。

Copyright FUJITSU LIMITED 2023

2）<u>OS のシャットダウン機能の時間設定変更について</u>

iRMC ファームウェア 1.18S および ServerView Agentless Service v10.30.04 において iRMC WebUI の設定メニューからの OS のシャットダウン機能の時間設定(下記の(a),(b),(c))の設定変更がご使用いただけません。

下記の ServerView Agentless Service のデフォルト値(固定値)にて運用ください。



ServerView Agentless Service の設定	デフォルト値(固定値)
(a) シャットダウン待ち合わせ時間	20 秒
(b) コマンド実行時間 ※2	60 秒/80 秒 ※3
(c) OS シャットダウン処理時間	60 秒

(※2)『サーバ内蔵型バッテリーユニット PY-BBG04/PYBBBG04 アップグレード＆メンテナンスマニュアル』に記載の ServerView Agentless Service の指定のディレクトリに、指定のファイル名でバッチファイルなどのユーザーが作成したコマンドファイルを格納することでシャットダウン前にユーザーが指定したコマンドを実行するための時間。

(※3)コマンドファイルの有無によりコマンド実行時間は下記の 2 通りです。

- コマンドファイルなし：60 秒
- コマンドファイルあり：80 秒

※5 月リリースの iRMC ファームウェア 1.24S および ServerView Agentless Service v10.40.04(Windows 環境)/ v10.40-06(Linux 環境)にて修正されております。上記版数以降の最新版の iRMC ファームウェアおよび ServerView Agentless Service を適用ください。

Copyright FUJITSU LIMITED 2023

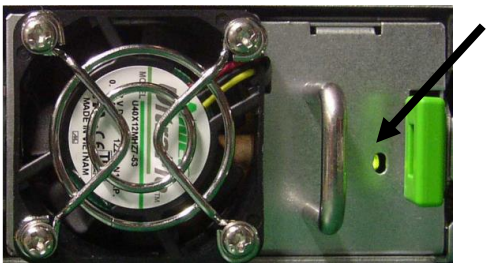
3. シャットダウンの時間の留意事項

本製品のバッテリー容量不足により完全放電となった場合には、サーバ電力が停止し正常なシャットダウンとなりません。安全にシャットダウンするためには、本製品のバックアップできる時間以内に、シャットダウンが完了する必要があります。本製品の供給電力とバックアップ時間の関係は、下記の表のようになります。

サーバ消費電力(W)	バックアップ時間
380	2 秒
280	4 分
250	4 分 30 秒
200	5 分 40 秒
150	7 分 37 秒
100	11 分 30 秒

4. 本製品の留意事項

(1) 本製品をサーバ本体に実装しサーバの電源を投入した際、および本製品を活性で交換した際は、本製品の状態表示 LED の緑 LED が点滅します。緑 LED の点滅状態は本装置を充電していることを表します。
充電時はバックアップ(放電可能)時間が短くなります。ご使用の前に、必ず充電をしてご使用ください。



サーバ背面の FJBU 外観

(2) 本製品のファンは必要に応じて回転します。回転していない場合も異常ではありません。
(3) 本製品を完全に放電させ、サーバ電力が停止した後に本装置に電力を供給すると、本製品の状態表示 LED のｵﾚﾝｼﾞ LED が点滅する場合があります。しばらく充電してｵﾚﾝｼﾞ LED が消える場合は異常ではありません。
(4) 完全に放電した状態から満充電までは 5 時間の充電が必要です。充電のためにはサーバの電源を投入する必要があります。満充電されると本製品の状態表示 LED が緑色で連続点灯します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2023

(5) 本製品のバッテリー寿命について、装置の環境温度が高い場合または放電頻度が高い場合（年に４回以上）には、バッテリー寿命が短くなる場合があります。

(6) 長期保管し使用しない場合も、１年毎に充電が必要です。１年以上にわたり充電しない場合は、バッテリーが劣化し本製品が故障する可能性があります。

(7) VMware 環境の場合は、iRMC や ServerView Agentless Service では停電時にシャットダウンする機能は提供していません。停電発生時は OS の機能やその他アプリケーション等により OS をシャットダウンしてください。

(8) ServerView Agentless Service の設定において、コマンドファイルを指定しない場合は、コマンド実行時間はスキップされます。また、コマンドファイルには画面表示を伴うコマンドは指定できません。

－以上－

Copyright FUJITSU LIMITED 2023